

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

令和元年度第5号 2月21日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「感謝の気持ち」

教頭 越田 淳

私が通っていた高等学校では、「校訓」の他に、「文武不岐」という「武道館訓」がありました。「文武不岐」というのは、水戸藩主の水戸齊昭公が藩校の創設に当たって記した「弘道館記」に由来し、「学問と武道の両方を極めることを志し」という意味だそうです。

今年度、本校の生徒たちは、まさに「文武不岐」の活躍を遂げました。障害者職業技能大会（アビリンピック）の全国大会出場や全道大会の金賞受賞、日本漢字能力検定への各級合格、北海道特別支援学校（知的障害）児童生徒生活体験発表会の最優秀賞受賞、パソコン部のアジア国際子ども映画祭全国大会出場、演劇部の春季全国高等学校演劇研究大会出場、全国障害者スポーツ大会へのサッカー部員や陸上部員の代表選出、サッカー部の全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権の出場など、様々な活躍がありました。また、各学科の作業学習など日常の教育活動についても、生徒たちの真摯な取り組みを地域の方々をはじめ、多くの方からよい評価をいただいています。

これらの活躍は、生徒たちや教職員の頑張りだけでできたのではなく、保護者や地域の方々など様々な方の御支援があって初めて成し得たものです。特に、サッカー部や演劇部の全国大会出場については、新篠津村の皆様や、いろいろな事業所、全道の特別支援学校の教職員の方々など、本当に多くの方から御支援をいただきました。この場をもちまして、感謝の意を述べさせていただきます。「ありがとうございました。」

さて、この「ありがとう」という言葉ですが、漢字で書くと「有り難う」となります。この語源は、仏教の「盲亀浮木のたとえ」で、人間に生まれることは「有る」ことが「難しい」、だからこそ人間に生まれてきたことは大変、喜ぶべきことであるという教えからきています。そこから転じて、他人から何かしてもらうことは、めったにないこと、有り難いことという意味になったそうです。

皆様からいただいた御支援は、まさに「有る」ことが「難しい」ものです。本校では、支援を受けるのは当たり前ではないこと、支援に込められた皆様の思い、支援をしていただいた方の多さなどを、生徒たちにしっかり伝えて、皆様の御支援の「有り難さ」を十分に感じるよう指導しています。今後も皆様の御期待に応えられるように、「文武不岐」の精神で様々な教育活動に取り組んでいきます。今後とも皆様の御支援をよろしく願いいたします。



冬のしんしのつ会

進路指導部 安達 知子

1月11日(土)にライフォート札幌にて「同窓会総会・冬のしんしのつ会」が開催され、同窓生177名と退職された2名を含めた28名の職員が参加しました。

同窓会総会は、同窓会副会長の齊藤さんの挨拶のあと、役員から今年度の行事報告がありました。役員改正の提案では、同窓会会長に奥谷さんが満場一致で決議されました。今年度から、21回生以前の同窓生も「冬のしんしのつ会」に参加することができるようになり、全員で円卓を囲んで歓談し、近況報告等のお喋りに華を咲かせていました。余興のビンゴゲームでは、豪華(?)景品がもらえるとあって、「ビンゴ!!」の声があがる度に歓声と拍手が沸きあがりました。その後のカラオケも、時間ぎりぎりまで熱唱&ダンスで盛りあがりました。来年度も、開催を予定しておりますので、より多くの同窓生の参加をお待ちしています。



校外スキー学習

スキー担当 川浪 康範

年を明けても道路が見えているような少雪。道内でも雪不足のため営業を延期するスキー場がある中、心配されたホワイトパークでのスキー学習も、全学年事故や怪我無く終えることができました。

所々山肌が見える箇所はありましたが、気持ちよくシュプールを描きながら滑る生徒、ターン動作の確認をしながら教師の後に続いて滑る生徒など、力量に合わせてグループごとにスキーを楽しんでいました。昼食時には好きなメニューを選び、級友や教師との食事や会話をしながら和やかに過ごしていました。

最後に、今年度もスキー学習の実施にあたり、保護者の皆様に多くのご支援ご協力をいただき感謝いたします。また来年度もよろしく願いいたします。

2年生



3年生



1年生



ALT アニーク先生との交流学習 AGEIN

2 学年 ALT 担当 早川 一弘

新高祭の喧噪を縫うように、総合的な探求の時間「世界の中の日本」の学習に取り組みました。その間、11月21日(木)にALT(外国語指導助手)のアニーク・ハリス先生に来校いただき交流学習を行いました。先生の母国である南アフリカ共和国について調べ学習を行い、興味をもったり、疑問に感じたりしたことや、先生御自身に関することを英語で質問しました。また、学科紹介や自己紹介も、パワーポイントのスライドやフリップを工夫して分かりやすい紹介をすることができました。



生徒達は、昨年に引き続いてのアニーク先生との学習ということもあって、リラックスした雰囲気の中で英単語ビンゴのゲームや先生との記念撮影などの際も積極的に会話に参加するなど、とても和やかな交流ができていたのではないのでしょうか。アニーク先生からも昨年に比べ、質問や自己紹介がずいぶん上手になったとのお話をいただきました。生徒にはこの学習が広く世界に目を向けるきっかけになるのではないかと感じました。



第13回アジア国際子ども映画祭に参加して

パソコン部 油谷美恵子

今年度は「迷惑をかけることとは？」というテーマで、パソコン部全員で3分間のショートムービーを応募し、北海道南ブロック大会で北海道南ブロック副大会長賞を受賞し、本選にエントリーされました。2019年12月6日から8日の2泊3日、南あわじ市で開催された第13回アジア国際子ども映画祭の受賞式に部長の竹本美琴さんと副部長の富田小八華さんで参加してきました。明石海峡大橋や大鳴門橋記念館、淡路人形座などを観光もしました。日本の学校の他に、中国や韓国、マレーシア、シンガポールなどアジア圏の高校生が参加し、多くの国の高校生とも交流ができ楽しい時間を過ごすことができました。本選では、受賞された作品を観ることができました。海外の作品は、言葉が分からなくても雰囲気や動きなどで内容が伝わるものでした。参加した二人は、「海外の作品もどれもすごくて、私たちは賞をもらえませんでした。多くの人と交流もでき楽しい時間を過ごすことができました。」と感想を述べていました。



冬休み作品展

文化体育部 横田 江利子

今年の冬休み作品展にも工作、絵画、手芸、自由研究など 59 点の作品が出展されました。出展されたどの作品も個性が光る力作でしたが、厳正なる審査の結果、最優秀賞は木工科 3 年立花奏太さんの「オバキューム」に決まりました。細かいところまで再現され、鮮やかな色使いが目を引く作品です。次回は、夏休み作品展です。たくさんの応募をお待ちしています。

最優秀賞 『オバキューム』
木工科 3 年 立花 奏太さん



生徒会新四役決定

生徒指導部 中山 飛鳥

令和元年度も終わり近づき、生徒会四役もバトンを渡す時期がやってきました。昨年 12 月の生徒会役員選挙で選出された新生徒会四役はやる気に充ちた 5 名！新篠津高等養護学校の生徒一人ひとりが充実した高校生活を送ることができるように生徒からの発信を大事に、良き伝統を守り、新しい風を吹き込む革新を期待できる 5 名です。初心を忘れず、自覚と責任をもって積極的な生徒会活動を期待しています。

編集後記

暖冬と言われている今冬ですが、遅れを取り戻すかのように雪が降りました。できれば雪害などで臨時休校することなく冬を終えられることを祈ります。

もうすぐ 3 月、別れと出会いの季節となり 3 年生は巣立って行きます。残り少ない学校生活を仲間達と楽しく過ごし元気に羽ばたいてくれることを期待しています。